

使用上の注意点 (Alert Notes)

ご使用前に必ずお読みください。

SAS/IntrNet 1.0

- ・新規インストールした「Windows 版 SAS システムリリース 6.12 TS045 以降」に、SAS/IntrNet ソフトウェアをインストールすると、SAS システム起動時に日本語が文字化けする問題があります。その場合、CONFIG.SAS ファイルの先頭に次の 4 行を追加してください。

```
-DBCS  
-DBCSLANG JAPANESE  
-DBCSTYPE PCMS  
-$RESDLL SASVRESJ
```

- ・新規インストールした「Windows 版 SAS システムリリース 6.12 TS045 以降」に、SAS/IntrNet ソフトウェアをインストール後、SAS/CONNECT でリモートホストの SAS に対し UPLOAD プロシジャを実行をすると、接続が切れます。これは、IntrNet のモジュールと SAS 本体のモジュールのレベルが合っていないためです。対処方法として、config.sas の -PATH オプションから IntrNet のパスをはずしてください。

```
-PATH      (  
           /* !sasroot¥IntrNet¥sasexe */ <== ここをコメントにします  
           !sasroot¥japanese¥sasexe  
           !sasroot¥dbcs¥sasexe
```

- ・アプリケーションディスパッチャのアプリケーションサーバ用 reset.sas ファイルには出荷時に以下のステートメントが含まれています。

```
goptions reset=all;  
goptions simfont=kanji ftext=kanji;
```

SAS/GRAPH ソフトウェアが導入されていない環境でアプリケーションサーバを利用する場合には、上記の goptions ステートメントをコメントにしてください。

- ・アプリケーションサーバにより実行されたすべての SAS コードはワークライブラリの中のファイルに保存されます。ご使用のマシンのハードディスクの空き容量が少ない場合は、アプリケーションサ

サーバがディスクスペース不足を引き起こすことがあります。

定期的にアプリケーションサーバをリセットして、できるだけディスクスペースを作ってください。

- SCL プログラムを用いたプログラムには、アプリケーションディスパッチャーより Name/Value 形式の SCL リストが渡されます。ユーザプログラム中でこのリストは削除しないで下さい。アプリケーションサーバ停止の原因となります。
- アプリケーションディスパッチャプログラムは、アプリケーションサーバ SAS セッションでダイアログやポップアップウィンドウを出力する可能性があります。そのような動作が起こるのは、フルスクリーンプロシジャをコールしたとき、または存在しないグラフィックドライバを指定したとき、パスワードで保護されたデータセットをパスワードを指定せずに開いたときなどです。アプリケーションディスパッチャプログラムを停止させないために、ダイアログやポップアップウィンドウを出力する原因になるコーディングは避けてください。
- Netscape FastTrack Web server を使用している **Windows95** では、アプリケーションブローカ コンポーネント CGI は以下のエラーになります。

Error connecting to the SAS server

Can't initialize a socket on the Web server machine for listening.

This could indicate an overloaded server, or it could be a bug.

If you suspect a bug, report this information to

technical support: init_server_port(host="NULL", port=-1) returned

SAS インスティテュートでは、ネットスケープ社のテクニカルサポートとともにこの問題について調査しています。回避策として、Microsoft 社の Personal Web Server などをご利用下さい。(Windows95 版 SAS/IntrNet は評価版です。)

- MDDB レポートビューアでレポートタイプとしてブロックチャートや縦棒グラフを指定した場合、次元のレベルの数が多いとグラフが表示できないことがあります。このような場合は、goptions の vpos= , hpos= オプションを reset.sas 中に指定し出力するグラフに合わせて調整を行ってください。
- TABULATE プロシジャステートメントに以下のフォームオプションを指定し罫線文字の変更を行ってください。

formchar='02030405060708090a0b0c'x

詳しくは、このパッケージに含まれている html 形式のドキュメント(/web/format/tab/sasopts.htm) をご覧ください。

- アプリケーションディスパッチャや htmSQL で日本語を使用する場合に、SAS サーバや html ファイルなどの文字コードが統一されていないと、html ファイルの表示やデータの選択において正しく処理がなされない場合があります。
今回のバージョンでは、文字コードの自動変換はサポートされていません。
詳細は、弊社テクニカルサポートへお問い合わせください。

- **Windows NT 3.51** で、CD-ROM のルート直下以外のファイルが認識できない場合があります。この問題が発生した場合は、弊社テクニカルサポートへお問い合わせください。

- htmSQL 使用時に、SAS/SHARE*NET サーバのログに以下のエラーメッセージが出力される場合がありますが動作には問題ありません。

```
Unexpected ERROR 8000041E from WZXEXEC for user root:  
ERROR: A bug in SAS has been encountered.  
Please call your SAS representative and report the following message:  
WZX: origin buffer overflowed.
```

- **AIX 版**アプリケーションサーバで提供している sasxdmr モジュールが導入されている場合、そのホストへ signon しようとするとき以下のエラーが発生する場合があります。

```
ERROR: SAS/CONNECT プロダクトが正しく導入されていません.
```

この問題が発生した場合には、*SASROOT*/dbcs/sasexe にある sasxdmr を別の名前に変更し、sasxdmr.old を sasxdmr にリネームして使用してください。

SAS インスティテュートジャパンは、製品出荷後に発見された不具合に対する修正モジュールやマニュアルに記載されていない最新の情報等を次のサービスにより提供しています。

@nifty SAS Station

GO SAS コマンドで SAS ステーションへアクセスし、

[4.データライブラリ] [メンテナンスモジュール]を選択して最新の修正モジュールを入手するこ

とができます。

また、[4.データライブラリ] [ドキュメント]を選択して最新情報等をご覧頂けます。

WWW(World Wide Web)

WWW ブラウザを用いて、SAS インスティテュートジャパンのホームページ (<http://www.sas.com/japan/>)にアクセスし、

[テクニカルサポート] [FTP サービス] [FTP サービス---サーバに接続] [maint/] を選択して最新の修正モジュールを入手することができます。

また、[テクニカルサポート] [SAS FAQ]、[SAS HOW-TO]、[SAS Notes (Version 6)]等を選択して最新情報等をご覧頂けます。

Anonymous FTP サービス

ftp コマンドを用いて、米国 SAS Institute Inc.の FTP サーバ(<ftp.sas.com>)にアクセスし、**/pub/webfiles/Japan/maint** ディレクトリに移動して、最新の修正モジュールを入手することができます。

ユーザ ID、パスワードは以下のように入力してください。

```
% ftp ftp.sas.com
ftp> Name(ftp.sas.com:userid): anonymous
ftp> Password: お客様の E-mail アドレス
ftp> cd /pub/webfiles/Japan/maint
```

上記サービスをご利用いただけないお客様で、修正モジュールが必要な場合には、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本文書の内容に関するお問い合わせは、弊社テクニカルサポートまでお願い致します。

株式会社 SAS インスティテュートジャパン

本社	〒104-0054 東京都中央区勝どき 1-13-1 イヌイビル・カチドキ 8F T E L : 03-3533-6921 F A X : 03-3533-6927
大阪支店	〒530-0004 大阪市北区堂島浜 1-4-16 アクア堂島西館 12F T E L : 06-6345-5700 F A X : 06-6345-5655
九州営業所	〒802-0001 北九州市小倉北区浅野 2-14-1 小倉興産 KMM ビル 3F T E L : 093-512-5014 F A X : 093-512-5016
テクニカルサポート	T E L : 03-3533-3877 F A X : 03-3533-3781

本文書の内容は予告なく変更されることがあります。

SAS および米国 SAS Institute Inc.の他のすべてのプロダクト名、サービス名は米国 SAS Institute Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他本文中で使用しているシステム名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。